

このアプリについて

2024/12/1

## 1. アプリ名：Shootway

2. 概要：Shootway は、写真撮影と同時に、カメラの位置・姿勢（レンズの方向）を簡単に記録できるアプリです。

## 3. 主な機能：

### 3.1 機能 1：写真の撮影、撮影日時・場所、カメラの姿勢の記録

「Take Photo」→「TAKE PHOTO」→「SAVE」

- (1) 初期画面から「Take Photo」ボタンを押してカメラを起動させます。
- (2) 「TAKE PHOTO」ボタンを押すと写真が撮影され、同時に時間情報、位置情報、姿勢情報を記録します。各情報には以下のデータが含まれます。  
時間情報：日時  
位置情報：緯度、経度、高度  
姿勢情報：方位、仰角、ねじれ  
各データのフォーマットは、末尾の参考資料をご覧ください。
- (3) 自動的に地図画面に遷移し、上記データのうち緯度・経度・方位が地図上に矢印で示されます。矢印の始点が緯度及び経度、矢印の方向が方位を表します。
- (4) 保存するときは「SAVE」ボタンを押してください。緯度・経度・方位について修正したいときは、「ADJUST」ボタンを押してください。修正は、下記「補足 1.（修正する場合）」を参照して行ってください。
- (5) 「SAVE」ボタンを押すと、「Shootway」というフォルダに、QR コード付きの写真（以下「PQ」または「Photo+QR」といいます。）が保存されます。PQ の QR コードには、shootway.com の URL とともに時間情報、位置情報、姿勢情報が記録されます。  
なお、PQ の QR コードは、スマホの通常のカメラアプリや、本アプリの初期画面右上のメニュー内の「QR 用カメラ」で読み取ることができます。また、スマホの画面上に QR コードがある場合には、読み取り用のアプリ（Google レンズなど）を使うか、「フォト」などの写真閲覧用アプリで PQ を表示→「共有」→アプリの中から「Shootway」を選択で、本アプリ内でサイトと同等の画面を表示することができます。
- (6) なお、最初に撮影した写真（QR コードがないもの）は、「SW01」というフォルダに保存されます。

補足 1.：（修正する場合）「CAMERA」→「TAKE PHOTO」→「ADJUST」→「SAVE」

- a) 「CAMERA」→「TAKE PHOTO」による写真撮影後、緯度・経度・方位が地図上で示された画面で、「ADJUST」ボタンを押します。
- b) 別の地図が表示されるので、その地図上で、まず方位を修正し、次に緯度・経度を修正します。
  - 方位の修正：地図上で2本指で回転させ、矢印の向きを修正します。
  - 緯度・経度の修正：地図上の撮影場所で長押し（ロングクリック）します。ロングクリックすると、自動的に以前の地図の画面に戻り、修正された緯度・経度・方位を示します。
- c) さらに修正したい場合には、再び「ADJUST」ボタンを押して上記を繰り返します。

### 3.2 機能2：PQの表示

「View Photo」→写真の選択

- (1) 初期画面から「View Photo」ボタンを押して写真の一覧を表示します。
- (2) 写真を選択します。
- (3) PQのQRコードが正常に読み込まれた場合は、画面上部にPQが、下部にQRコード内の情報の内、緯度・経度・方位が地図上に矢印で示されます。矢印の始点が緯度及び経度、矢印の方向が方位を表します。
- (4) 地図内の矢印をクリックすると、時間情報と緯度経度の詳細が表示されるとともに、経路検索ボタン及びGoogleMapへの遷移ボタンが表示されます。

### 3.3 機能3：QRコードの作成

以下の手順でQRコードのみを作成することができます。作成したQRコードは、既存の写真や動画などに張り付けてお使いください。

「QR」→緯度・経度・方位の指定→その他のデータの入力→「Validate」

- (1) 初期画面から「QR」ボタンを押します。
- (2) 地図が表示されるので、その地図上で、まず方位を指定し、次に緯度・経度を指定します。
  - 方位の指定：地図上で2本指で回転させ、矢印の向きを指定します。
  - 緯度・経度の修正：地図上の指定したい場所で長押し（ロングクリック）します。ロングクリックすると、自動的に緯度・経度・方位以外のデータの入力画面に移動します。
- (3) 各データを入力します。各データのフォーマットは、末尾の参考資料をご覧ください。
- (4) 「Validate」ボタンを押します。

- (5) 画面に QR コードが表示され、「SW02x」というフォルダに作成した QR コードが画像ファイルとして保存されます。
4. 対象ユーザー：Shootway は、一般ユーザー及びビジネスユーザーを対象としています。
5. お問い合わせ： アプリに関する詳しい情報は、[www.shootway.com](http://www.shootway.com) をご参照ください。
6. プライバシーポリシー： 現在のバージョンにおいて、Shootway は、個人情報を収集していません。プライバシーに関するポリシーについては、アプリ初期画面メニューから「プライバシーポリシー」をご参照ください。
7. 利用規約： アプリの利用に関する詳細な規約については、アプリ初期画面メニューから「利用規約について」をご参照ください。

2024.12.01 初版

### 【参考資料】各データのフォーマット

QRコードに含まれる情報には、時間情報、位置情報、姿勢情報があります。

#### 1. 時間情報の構成・フォーマットは、以下の通りです。

構成： 年/月/日 時:分:秒.ミリ秒 タイムゾーン

年:4桁：西暦年

月:2桁：1～12

日:2桁：1～31

時:2桁：0～23

分:2桁：0～59

秒:2桁：0～59

ミリ秒:小数点以下3桁：0～999

タイムゾーン\*：末尾「タイムゾーンの表記」参照

\*タイムゾーンは、次項の位置情報とは関係ありません。

\*ミリ秒については、「3.2 機能2：QRコードの作成」では入力することができません。”000”になります。

#### 2. 位置情報の構成・フォーマットは、以下の通りです。

構成： lat（緯度） lon（経度） alt（高度）

緯度：単位は度で、正の値0～89.99999999は北緯、負の値-89.99999999～0は南緯を示します。

経度：単位は度で、正の値0～189.99999999は東経、負の値-189.99999999～0は西経を示します。

高度：単位はメートルです。（「3.2 機能2：QRコードの作成」では入力することができません。）

#### 3. 姿勢情報の構成・フォーマットは、以下の通りです。

構成： bearing（方位） elevation（仰角） twist（ねじれ）

方位：撮影時のカメラレンズの真北に対する方向を、真北を0として、時計回りに0.1度単位の角度で表します。0～359.9が取り得る値です。

仰角：撮影時のカメラレンズの水平に対する上下方向を、水平を0として、見下ろす方向を正、見上げる方向を負の値で表します。-89.9～89.9が取り得る値です。

ねじれ：撮影時のカメラがレンズの向いている方向に対して、上部を左にした水平横長

(Landscape)の場合を0として、時計回りに何度ねじれているかを表します。0~359.9  
が取り得る値です。横長で撮影すると0近辺、縦長で撮影した場合は90近辺となり  
ます。

\*「3.2 機能2：QRコードの作成」では、整数値のみ入力することができます。

\*タイムゾーンの表記

タイムゾーンは、「UTC」、「正負」、さらに「数値」を続けて表記しており、そのまま当該タイムゾーンのUTCとの時間差を示しています。ただし、「正負」と「数値」の組み合わせは限定されており、タイムゾーンの表記としてありえるのは以下の40通りとなります。

UTC+0:00

UTC+1:00

UTC+2:00

UTC+3:00

UTC+3:30

UTC+4:00

UTC+4:30

UTC+5:00

UTC+5:30

UTC+6:00

UTC+6:30

UTC+7:00

UTC+8:00

UTC+9:00

UTC+9:30

UTC+10:00

UTC+10:30

UTC+11:00

UTC+11:30

UTC+12:00

UTC+13:00

UTC+14:00

UTC-1:00

UTC-2:00

UTC-3:00

UTC-3:30  
UTC-4:00  
UTC-4:30  
UTC-5:00  
UTC-6:00  
UTC-7:00  
UTC-8:00  
UTC-9:00  
UTC-9:30  
UTC-10:00  
UTC-11:00  
UTC-12:00  
UTC+12:45  
UTC+8:45  
UTC+5:45